

教団新報

定 価 1部 144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
URL <http://uccj.org>
発行人 秋 山 徹
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



補教師 38 名、正教師 11 名が受験

2019年 春季教師検定試験

主の召命に応える試験に臨む

2019年春季教師検定試験が、2月26、28日、日本キリスト教会館、早稲田奉仕園を会場として行われた。補教師38名、正教師11名が受験した。昨年より少ない人数であったが、主がこの時代、これだけの伝道者を召してくださっておられることに畏れと感謝を覚えた。受験生一人一人が真剣に自らの召命と向き合い、筆記試験、面接試験に臨んだ。

教師検定試験は、何よりも主からの召命を問う試験である。同時に、伝道者として福音を語り伝えるための基本的な神学が身に着いているかどうかを問う試験である。試験の結果は厳しい結果であった。

春季教師検定試験は主に、神学校を卒業し、教師となるための検定試験である。筆記試験はいずれの科目も、基本的な神学が身に着いているかどうかを問う問題であった。しかし、基本的な神学が身に着いているかどうかは、自分の言葉として伝える相手に届く言葉となっているかどうか問われる。

2019 年春季・補教師検定試験問題

憲教規および諸規則・宗教法人法 (60 分) (A, B, C Ⅲ)
次の 2 題に答えてください。

- 日本基督教団は教師と信徒をどのように区別し、またその違いについて理解しているでしょうか。憲教規より必要な条項およびその内容を明示しつつ、あなたの考えも含めて論述してください。
- 宗教法人として具備しなければならない書類、帳簿をすべてあげてください。またなぜそれらを備えなければならないのか、宗教法人法の目的に沿って説明してください。

旧約聖書神学 (60 分) (B, C Ⅲ)
次の 3 つの語句について 2 つを選んで説明してください。

- 仮庵の祭り
- ヒゼキヤ王の改革
- ダレイオス王

新約聖書神学 (60 分) (B, C Ⅲ)
次の 3 題のうち 2 題を選んで、聖書に基づいて、述べてください。

- パウロにとって律法とは何だったのか
- 新約聖書のキリスト論における再臨について
- 新約聖書の「和解する (ディアラッセイン、カタラッセイン)」思想について

講 評

2019 年春季教師検定試験が 2 月 26 日から 28 日にかけて、西早稲田の日本キリスト教会館会議室および早稲田奉仕園にて、行われました。

春の試験は補教師の受験が主となりますが、減少傾向にあるとはいえ、受験者が与えられ、教会に仕える者が召されていることは喜びです。

一方で近年、聴衆に届く言葉意識した説教になかなか出会えなくな

語る上で、組織神学的思考は不可欠である。「教会史」は暗記ではなく、教会の歴史を通して、教会が公同の信仰に立つために、いかなる戦いをして来たのかを問うものである。公同教会の信仰に立つ今日の教会と深く繋がっている。その問題意識が乏しい解答が多かった。

「組織神学」はいつも指摘されていることだが、組織神学的思考の乏しさが顕著であった。説教を

「説教」に、その不十分さが表れていた。心に響く説教が少なかった。「説教」が豊かな福音の言葉となるためには、「釈義」において「旧約聖書神学」「新約聖書神学」は、日々聖書の御言葉に親しみ、その御言葉に生きているかどうかを問われる。その上で旧約、新約聖書神学の基本的なことが身に着いているかどうか問われているが、不十分な解答が多

2019 年春季教師 検定試験が 2 月 26 日から 28 日にかけて、西早稲田の日本キリスト教会館会議室および早稲田奉仕園にて、行われました。

春の試験は補教師の受験が主となりますが、減少傾向にあるとはいえ、受験者が与えられ、教会に仕える者が召されていることは喜びです。

一方で近年、聴衆に届く言葉意識した説教になかなか出会えなくな

語る上で、組織神学的思考は不可欠である。「教会史」は暗記ではなく、教会の歴史を通して、教会が公同の信仰に立つために、いかなる戦いをして来たのかを問うものである。公同教会の信仰に立つ今日の教会と深く繋がっている。その問題意識が乏しい解答が多かった。

「組織神学」はいつも指摘されていることだが、組織神学的思考の乏しさが顕著であった。説教を

「説教」に、その不十分さが表れていた。心に響く説教が少なかった。「説教」が豊かな福音の言葉となるためには、「釈義」において「旧約聖書神学」「新約聖書神学」は、日々聖書の御言葉に親しみ、その御言葉に生きているかどうかを問われる。その上で旧約、新約聖書神学の基本的なことが身に着いているかどうか問われているが、不十分な解答が多

と向き合いながら、主の召命に誠実に応えて行っている。C コース受験志願者認定面接が行われ、4 名の志願者の面接を行った。主が様々な場所で、様々な年齢の方を伝道者へと召しておられることに畏れを感じた。この認定面接は、C コースを受験するための心構えを伝えるための面接である。教団の教師となるための資格試験ではなく、伝道者へ

日本基督教団と沖縄キリスト教団との 合同 50 周年にあたっての議長声明

1969 年 2 月 25 日、沖縄キリスト教団と日本基督教団の合同式典が銀座教会で行われてから 50 年の時を経ました。

沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同議定書前文には戦争で受けた傷について、「この世の歴史においては、この傷はいまだに癒されるに至っていない」とあり、「この裂け目を克服する志を表明した。これが両教団の合同である」とあります。

合同 50 周年にあたり、「裂け目の克服」がいまだ成し遂げられることなく、むしろ深まっていると言わざるを得ない現状であることに深い痛みを覚えます。

また、今、米軍基地建設のために沖縄・辺野古の海に土砂が投入されていることに痛みを覚えます。しかし、「痛みが分かる」と安直に言うこと自体において、まさに「分かっていない」ことをさらけ出し、沖縄の方々を傷つけてきました。「本土」が沖縄の歴史に土砂を投入し続けてきた負の歴史を未だ終わらせることができず、本土の教会として、教団として、その痛みを聞き続ける以外にないと痛感しています。

1941 年の教団合同において、沖縄の 5 教派 16 教会が日本基督教団九州教区沖縄支教区に組み入れられま

した。1945 年 3 月 26 日の米軍慶良間諸島上陸から沖縄戦に突入し、「鉄の嵐」と呼ばれる猛烈な砲撃により全土の家も教会堂も破壊され、教会員の多くが死亡・四散しました。戦争末期には教団本部から派遣された教師に対して引き揚げが命じられました。現地で生き残った教師は 1 名だけでした。凄まじい地上戦が 90 日程続き、6 月 23 日の終結以降も戦闘は続き 20 万人もの人々が犠牲となりました。

「本土」の犠牲となり、激しい痛みを背負いながら米軍の設けた難民収容所の中から立ち上がり、米軍統治の下で歩み沖縄の教会・信徒たちを本土の教会が見捨ててしまった罪、戦後の「日本基督教団」において九州教区沖縄支教区が消滅し、そのことへの痛みを感じなかった無関心の罪を今改めて思い返し、主の前に懺悔し、沖縄の教会に赦しを願います。

沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同 50 周年にあって、「十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ」(エフェソの信徒への手紙 2 章 16 節) てくださる主イエス・キリストにより頼み、沖縄の教会の声を聞き、主の導きを祈りつつ、「裂け目」の克服のために力を尽くして行きたいと願っています。

2019 年 2 月 25 日

日本基督教団総会議長 石橋秀雄

と召してくださった主の召命に応える試験であることを伝えた。

教師検定試験を通して明らかになった課題は、受験生だけでなく、教師

いかに養成して行くのか。伝道者としていかに力ある御言葉を語り、主から託された伝道に臨んで行くのか。

この課題は教師検定委員会だけの課題に留まらず、教団が神学校と共に、真剣に祈り、考えて行かなければならない重要な

課題である。試験終了後、第 11 回委員会を開催し、この課題を新委員会に引き継いで行くことを確認した。

また、この課題を巡って、教師養成制度検討委員会と懇談をした。

(井ノ川勝範)

▼教育委員会▲

将来に伝えることを考える委員会として

第41総会期第1回教育委員会が、2月12日に教団会議室で開催された。今年度委員は次の通りである。増田将平（委員長）、望月麻生（書記）、飯田敏

勝、篠田真紀子、ジョナサン・マッカーリー、藤巻朋子、横山ゆずり。2018年度のクリスマス献金は12月31日時点で228万7379円で

あることが報告された。これは6月の最終報告を経て、「アハリー・アラフ病院」（パレスチナ・ガザ地区）、「ヌール学校」（アフガニスタン）、「放射能問題支援対策室いずみ」（東北教区）に送付することになる。

委員会では、2019年度の教会学校応援セットの送り先について検討した。今回はBコース（聖書物語絵本と紙芝居セット）に3教会、Cコース（ヒムブレイヤー）に4

2月15日、教団小会議室で第41総会期第1回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会が開催された。初めに組織を確定するため、委員長に宮本義弘、書記に豊川昭夫を選出した。その他の委員は、入治彦、

者会について議された。今年度の開催は9月9～10日に教団会議室で行われる予定である。この会における話し合いをいっそう重視していくこと、特に青年担当者と教団が直接意見を交わせる場を設けたいこと等、時間を

かけて話し合われた。また、担当者会で出された意見はきちんとまとめ、声明のような形で文書化していくことも確認された。

隔年で行われている「教会教育セミナー」については、今回は2020年の2月中旬に開催される予定である。

教育委員会は教会学校、青年への働き、キリスト教教育主事に関すること等、関わる内容が広範囲かつ多様な委員会である。漫然とした歩みではなく、将来に何を伝え

▼在日韓国朝鮮人連帯特設委員会▲

「外国人住民基本法」制定署名の依頼強化



後列左から、横山、篠田、飯田各委員、石田真一郎幹事
前列左から、藤巻委員、増田委員長、望月書記

委員会では、2019年度の教会学校応援セットの送り先について検討した。今回はBコース（聖書物語絵本と紙芝居セット）に3教会、Cコース（ヒムブレイヤー）に4

2月15日、教団小会議室で第41総会期第1回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会が開催された。初めに組織を確定するため、委員長に宮本義弘、書記に豊川昭夫を選出した。その他の委員は、入治彦、

勇文人、土井しのぶである。次に、宮本委員長が当委員会では日本基督教団と在日大韓基督教会との宣

活動する。②任務については、在日韓国朝鮮人の人権問題に関わる社会活動を行うこととし、主に「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト者連絡協議会（外キ協）」に

活動する。②任務については、在日韓国朝鮮人の人権問題に関わる社会活動を行うこととし、主に「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト者連絡協議会（外キ協）」に

の派遣、また在日大韓基督教会付属のRAIK（在日韓国人問題研究所）が関わる集会や全国キリスト教学校人権教育研究協議会主催の人権セミナーに連帯していく。

今年活動内容を確認した後、1月24～25日に広島で行われた外キ協全国協議会に出席した宮本委員長より報告があった。協議事項は以下2点。

①毎年、各教区総会開催時に「外国人住民基本法」の制定を求める署名協力の書類を送っているが、なかなか署名が集まらないため、今回は教区総会の会場で署名してもらうように依頼する文章を送る。②8月5～6日、大阪女学院で行われる全国キリスト教学校人権教育セミナーに入委員を派遣する。

最後に、今総会期の委員は、埼玉、静岡、石川、京都、岡山より来るため、財政面を考慮して出来る限りメール等で意見交換や連絡をして委員会自体の開催は年2回とした。（豊川昭夫報）

▼社会委員会▲

社会福祉6施設に援助決定

第41総会期第1回社会委員会が、2月18～19日に教団会議室で開催された。今期の委員は森下耕（招集者）、金子直子、庄司宜充、高橋真人、柳谷

長に森下耕、書記に高橋真人を選任。諸報告がなされ、前総会期からの「申し送り事項」を確認し、今総会期委員会の方針及び計画に関して、基本的

動基本方針」の現在の教団における位置づけを、2010年当時社会委員会において、原田史郎

委員（当時）より提出された『日本基督教団社会活動基本方針』（1966年教団総会）をめぐる委員会の学び」により確認した。

今期も「社会委員会通信」を発行し、フィールドワーク等で得られた事

柄を教団全体に発信して行きたい。また時期を捉えたメッセージの発信を心掛けたい。

関係委員会への派遣に関して、宣教委員会に森下委員長と庄司委員を派遣する他、日本キリスト教社会事業同盟、日本キ

リスト教保育所同盟に各1名を派遣することを可決した。各団体との関係を保ち、深めて行きたい。

クリスマス献金をもとに実施している社会福祉施設への援助については、各教区より推薦された6施設について提出さ

れた申請書類を慎重に審査した結果、申請を受けた施設すべてに各10万円を送ることを可決した。今期も全国社会委員長会議を行うこととし、2020年2月に東京での開催を予定している。（高橋真人報）

▼部落解放センター運営委員会▲

斎藤運営委員長を新たに選任



左から、森下委員長、大塚、庄司、金子各委員、高橋書記

第1回部落解放センター運営委員会は2月18～19日、教団会議室にて開催された。各教区運営委員15名の出席と東京五支区やNCC代表者ら8名の陪席。まず、センター「各取り組み」報告や2

018年度会計中間報告、教区・支区取り組み報告が行われた。教団内教会・伝道所からの継続的な献金に感謝し、各教

区が地域に根差して取り組んでいることを、喜びの内に分かち合った。

二日目は協議事項へと移り、センターの日常的な働きを担う活動委員会の委員選出を承認した。

今期は長く運営委員長の働きを支え、共にセンターの活動を担うことを再確認した。また、小林明センター主事の2019～20

23年までの主事任用を承認した。

次に、各教区総会への挨拶者選任について協議を行い、各教区選出の運営委員が挨拶を行うことを承認した。センターから全教区へ依頼状を送り、総会内で時間を提供して頂けるよう働きかける。第14回部落解放全国会議は2019年10月29～31日、関東教区での開

催を承認した。テーマは、狭山事件と再審開始を覚えること、課題であった性差別問題に向き合うこと、を中心とする。

「部落解放Q&A」の作成は、草案を受けて協議を行った。今後のセンターの取組み姿勢を内外に示すものとして更なる精査が必要という点で一致



各教区運営委員、東京五支区・NCC 代表者らが出席して

し、次回運営委員会に再提出することを承認した。天皇の代替わりに関する声明」は出席者より指摘や修正を受けた後、2019年の各教区総会に間に合うよう完成・公表することを承認した。また、2019年度予算を承認した。（後藤 慧報）



左から、土井、入各委員、宮本委員長、勇委員、秋山徹総幹事、豊川書記

第 141 回神奈川教区総会 議長・副議長・書記再選



古谷副議長、三宅議長、佐野書記

第141回神奈川教区総会が、2月23日、清水ヶ丘教会にて開催された。開会時には議員229名中155名が出席した。

議事日程承認では教団信仰告白を告白すること

をもちて会議を開始する、という修正が提案された。三宅議長は「議事日程は常置委員会で審議の上提案している。信仰告白を軽んじるわけではない」と原案について説明した上で採決した。

157名中賛成78名で修正案を否決、今総会において信仰告白を行わないこととした。教区基本方針を古谷正仁副議長が朗読し審議を開始した。

議長、副議長、常置委員選挙はすべて予備投票を行い候補者を選出、本投票を行った。また書記は、議長、副議長の推薦を議場が承認して選出された。三役は再選された。1名の准允、3名の按手執行について審議した。議長が執行の採決前に従来から行ってきた「教団の教師検定試験は神奈川教区から見ても不当とまでは言えない」という宣言の取り止めを求める意見が動議として扱わ

れた。採決の結果、宣言を行わない動議への賛成は163名中64名となり否決、従来どおりの宣言をして執行を可決した。

19年度教区活動基本方針策定・活動計画案では福音を伝道する」の一項目を加える修正案を138名中52名の賛成にて否決して原案を可決した。



西中国教区・岩国にて開催



(海老原道宣報)

「日独ユースミッション 2019」
～日独教会青年交流会～ 参加者募集

◎日 程 2019年7月24日(水)～8月3日(土)
◎渡 航 先 ドイツ・ヴィットシュトック
◎募集人数 8名(定員を超えた場合選考あり)
◎参加条件 14～19歳まで(日常英会話ができること)、求道者可。
*申込書、志望理由書、牧師推薦状、保護者同意書を提出。
◎費 用 18万円(自己負担分)
◎申込締切 4月22日(月)必着
◎問合わせ 日本基督教団事務局 (Tel 03-3202-0541)
*公益財団法人ウェスレー財団の支援事業です。
*申込方法、申込書ダウンロードは、日本基督教団 HP をご覧下さい。

19年2月20日逝去、81歳。長野県生まれ。63年東京神学大学大学院卒業。同年より堺川尻、泉大津、堺川尻、若松浜ノ町、豊田、函館教会を牧



補教師登録
川浦弥生

事務局報

19年2月23日逝去、95歳。長野県生まれ。48年受允、55年受按。48年より神奈川、下谷、神奈川、鎌倉、相模原南教会を牧会し、91年隠退し、99年隠退復帰し、07年隠退。遺族は息・滝沢光一さん。



村橋梢子氏(隠退教師)



滝沢陽一氏(隠退教師)

会し、弘前学院に務め、須坂教会を経て14年隠退。遺族は妻・中澤静代さん。

半世紀の歩みを振り返り、これからを考える

◆西日本五教区合同宣教研究協議会◆

第55回西日本五教区合同宣教研究協議会が1月28～29日、岩国東教会で開催された。西日本五教区合同宣教研究協議会

開催されている。1964年に第1回が行われた。本協議会の歩みを振り返り、これからの在りようを考える時期ではないかとの声から、一日目

師より「西日本五教区合同宣教研究協議会の歩み」として発題があった。その後、質疑応答、意見交換を行った。

一日目後半及び二日目前半は、各教区の宣教課題、取り組みを共有する時間を持った。そこには、教会に集う人の高齢化、牧師の不足、経済的な課題、社会的な課題との関わり等、実に多種多様な課題と取り組みがあっ

た。一日目後半は岩国教会の大川清教師の案内で岩国基地フィールドワークを行った。米軍機、自衛隊機、空中給油機合わせ170機以上の戦闘機が飛び交う岩国基地と関連施設を回る中、爆音と共に訓練飛行する戦闘機や空中給油機を見ながら、改めてここが戦争のための場所であることを思い知らされた。

次回回は四国教区を会場に第56回を行なう予定である。なお今回、四国教区当該機関は欠席、沖縄教区からは教団と距離を置いている故の個人としての参加であった。

類は教会入口に備え付ける他、内容に応じて葬儀の際に用いられるなど工夫して活用されている。今総会期は、教団伝道対策検討委員会に書記が委員として出席し、教団伝道推進基本方針展開開

討委員会小委員会に陪席するなど、伝道推進室との接点が増えることか夫して活用されている。今総会期は、教団伝道対策検討委員会に書記が委員として出席し、教団伝道推進基本方針展開開

ては受入れ諸教会との綿密な準備が必要となるため、時間に余裕をもって備えていくこととした。宗教改革500年を記念して開催された中高生大会、青年大会等を経て、若い世代を中心に様々な

ネットワークが形成されている。そのつながりを大切にし、また青年に関わる具体的な計画が提示されたときに必要な協力をすることが出来るよう備えていくこととした。

て励ましを受けた。二日目後半は岩国教会の大川清教師の案内で岩国基地フィールドワークを行った。米軍機、自衛隊機、空中給油機合わせ170機以上の戦闘機が飛び交う岩国基地と関連施設を回る中、爆音と共に訓練飛行する戦闘機や空中給油機を見ながら、改めてここが戦争のための場所であることを思い知らされた。

▼伝道推進室▲

伝道対策検討委員会との連携

第41総会期伝道推進室は前総会期同様、石橋秀雄教団総会議長が室長となり、1月22日、2月15日に委員会を開催した。

選任し、担当幹事は引き続き石田真一郎幹事が務める。

第1回委員会では、はじめに石橋室長より、機構改定を更に推進していく展望が語られた。伝道

推進室は第37総会期に教団が伝道に進んで取り組む、教団内の諸教会の伝道の進展に寄与すること

を目的として可決され発足した。主な活動内容は、伝道対策の検討、伝道ギャラパンの企画・実施、伝道トラクト・ポスデカの作成、『室報』(伝道推進室ニュース)発行、伝道礼拝・集会等の講師派遣、諸教会の伝道相談への対応等である。

「伝道に燃える教団・伝道する教団の建設」に向けての取り組みは、すべて聖霊の導きにより諸教会で続けられている。室

後列左から、齋藤委員、網中書記、石田幹事
前列左から、石橋室長、中島委員

第141回神奈川教区総会が、2月23日、清水ヶ丘教会にて開催された。開会時には議員229名中155名が出席した。

議事日程承認では教団信仰告白を告白すること

をもちて会議を開始する、という修正が提案された。三宅議長は「議事日程は常置委員会



聖学院大学ガルストホール壁面の
ガルスト像レリーフ

学校法人聖学院は、アメリカのディサイプルス派の宣教師たちによって生み出されましたが、その最初の宣教師の一人、チャールズ・E・ガルストを紹介したいと思います。

ガルストは 1883 年に日本にやって来た宣教師です。このとき、ガルストは 30 歳でした。ガルストは、日本に来る前は、ウェスト・ポイントというアメリカの有名な陸軍士官学校を出た軍人でしたが、ガルストは自分から進んで士官学校に入った人ではありませんでした。初めは、アイオワ州立大学で 2 年間農学を学び、その後その方面の仕事をしましたが、ある時その能力と人柄を認められて陸軍士官学校に推薦されることになったのです。当時、ガルストの父親は医者をしていましたが、8 人兄弟であったため、

経済的にあまり豊かではありませんでした。おそらく、そういうこともあって、ガルストは 19 歳で推薦されるまま士官学校に入学することになったのです。

しかし、その 4 年間の士官学校時代に、ガルストは 2 つの重大な出来事を経験することになりました。一つは、母親の死です。母親は、アイルランドの出身で、非常に信仰心が厚く、ガルストには牧師になることを期待していました。もう一つの出来事は、宗教的信念の変化でした。ガルストは、当時さまざまなに分裂していたキリスト教世界を再び一致させようという運動をしていたアイザック・エレットの呼びかけに深く共鳴するようになり、軍人として立身出世するよりも、キリストの一兵卒として、キリストと人類のために仕えたいと思うようになったのです。しかし、士官学校を卒業した者は 8 年間軍務に服さなければならないという規則がありましたので、ガルストは卒業後 8 年間軍務に服し、その間宣教師になる準備をしたのです。そして、同じ志を持つ女性ローラと結婚し、1883 年、もう一組の宣教師夫婦であるスミス夫妻と共に、日本にやってきたのです。

その後、ガルスト夫妻は、半年ほど横浜で日本語の勉強をしてから、まだ宣教師が入っていない東北の地、秋田を選んで、スミス夫妻と共にそこに行くことになりました。

しかし、当時の秋田はまだまだ辺境の地で、古い日本の風習がそのまま残っていた地域でしたので、多くの苦労を経験しました。人々からは好奇の目で見られ、また難解な日本語に悪戦苦闘し、さらにキリスト教に対する偏見という大きな社会的壁にぶつかりました。そればかりか、ノミや蚊といった不衛生な環境にも苦しめられました。そして、そうした困難な生活の中で、一緒に秋田に行ったスミス宣教師の妻ジョセフィンが、着任の翌年、8 歳の娘を残して病死するという悲劇が生じました。

しかし、そうした宣教師たちの生き様は、徐々に人々に深い感銘を与えることになり、ガルス

宣教師からの声

ディサイプルス派の最初の宣教師 C・E・ガルスト

菊地 順

(聖学院キリスト教センター所長)

トたちの働きは次第に受け入れられていったのです。そして、秋田での 4 年間の生活は実に実り多いものとなりました。

その後、ガルスト夫妻は、さらに活動の範囲を広げるために、山形県の鶴岡という町に移り、そこでさらに 4 年間活動します。そしてその後、休暇で 1 年アメリカに帰りますが、1893 年、再び家族と共に日本に戻り、今度は東京に居を構えながら、全国を伝道して回ったのです。その間、ガルストは、キリスト教の伝道だけではなく、政治や税制についてもしばしば重要な発言をし、特に税制に関しては、自ら「単税太郎」と名乗って「単税論」を唱え、税の不公平をなくすよう努力しました。また多くの政治家や社会活動家の相談役にもなりました。伊藤博文は、そうしたガルストの働きを高く評価し、「西洋は未だかつてチャールズ・E・ガルストに勝る贈物を送ったことがない」と語ったほどでした。

しかし、そうした多忙な働きのために、健康を著しく損なってしまいます。それには、秋田時代から何度か重い病に見舞われ、次第に健康を損なっていたことも影響していました。そして 1898 年 12 月 28 日、日本の地で 45 歳の生涯を閉じることになったのです。今でも、その墓は、東京の青山霊園にあります。

ガルスト宣教師は、感銘深い言葉をたくさん残していますが、亡くなる直前に、遺言はないかと妻から尋ねられた時、こういう言葉を語っています。それは、「My life is my message」という言葉です。その遺言が示すように、ガルスト宣教師は、正にその生き様そのものを通して、日本人にキリストのメッセージを語った人であったと言えます。

(Kyodan Newsletter より)

アルバイト募集

職 種 編集・編集補助 若干名
勤 務 月曜日～金曜日 9:30 ～ 17:00
週 3 日出勤できる方
待 遇 当局規定による 交通費支給
勤務地 東京都新宿区西早稲田
応 募 履歴書（自筆・写真貼付）を下記宛て 2019 年 5 月 7 日必着で郵送ください。
書類選考後、面接日を通知します。応募書類は返却いたしません（秘密厳守）。
お問合せ・応募先
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教団出版局 総務課
アルバイト募集係 電話 03-3204-0421



門脇 荘さん

自由の奴隷として生きる



1997 年、宮城県生まれ。東北学院大学生。趣味はバロック音楽、チェンバロ演奏。名取教会員。

東北学院中学校に進学し、初めてキリスト教と接した門脇さん。中高 6 年間、授業の課題で教会へ行くことがあった。しかし、クラシック音楽が好きな門脇さんにとって、教会はオルガンの音色を聴くために行く場所であり、聖書の言葉は何も耳に入ってこなかったと振り返る。

大学では教会へ行く課題が無くなったことで、教会と無縁の生活になると思っていた。しかし、1 年次の夏、同じ学科の友人が出席していた名取教会の礼拝に誘われる。

初めて訪れた時から、アットホームで居心地の良さを感じたことや、ピアノの演奏がでる賜物を認めてもらえるこ

とに喜びを覚え、毎週通うようになった。当時オルガニストが不足しており、一ヶ月後には奏楽奉仕の機会が与えられた。また、同じく友人に誘われて行った猪苗代教会でのワークキャンプをきっかけに、東北教区の青年活動にも関わるようになり、その交わりから仲間が与えられ、学生生活がより充実していくのを感じられるようになった。

その頃から、自らを見つめなおす機会が増えたと語る。大学入学以後、自己と他者の違いから溝を感じ、日常を染しめず、世界が白黒のように感じられた。しかし、交わり

昨年、我が秋田県は大いに盛り上がった。年のはじめには、秋田犬（あきたいぬ）が話題になり、年末には、なまはげがユネスコの無形文化遺産に登録されて話題になった（なまはげは、怠け者を懲らしめる神であるが、「泣く子はいねがー」と叫びながら家に入ってくるのを見るたびに、「アンタが泣かせてんでしょー」と突っ込みたくなる）。そして、夏は甲子園での金足農業高校の活躍があった。県立で、農業者で、野球部員は全員、地元の高校生ということで大き

な励ましを与えられた。

ただ、その活躍を伝えるテレビなどで、何度も「平成最後の甲子園！」と言われていたことには、そんなに繰り返して言わ

「平成最後の〇〇」?

なくとも：との思いをもった。もちろん今もいろいろなイベントや出来事を伝える時に「平成最後の〇〇」と言われているが、その度に私としては何となく、日本は天皇の御代で時代を区切

り、時を刻んでいる国であることを教えられている気がするのである。

もっとも、教会関係ではそのような言い方はされていないかっと思う（平成最後のクリスマス!）。キリスト者と教会は神の時を生きているからである。そのようなわけで、昨年のクリスマスには、主イエス・キリストが皇帝アウグストゥスおよびヘロデ王の時代にお生まれになったことの意味を、改めて深く思わされたことであった。

（教団書記 雲然俊美）